

## 休眠預金等活用新型コロナウイルス対応緊急支援 助成事業選考の経過及び結果

### 【公募状況】

- ・事業名：「地域連携型アフターコロナ事業構築」
- ・助成対象：公益的・社会的な活動を行う非営利団体かつ千葉県内に事務所を有している  
もしくは千葉県内で活動している団体
- ・申請受付期間：2020年8月7日～8月31日

### 【申請状況】

- ・申請団体数：13団体（うち、対象外1団体）
- ・申請事業総額：125,697,345円／助成申請額：104,122,345円

### 【選考結果】

- ・採択件数：6件
- ・助成総額：5000万円
- ・助成期間（実行団体の事業実施期間）：2020年10月～2021年9月30日
- ・助成先：

団体名・所在地	活動内容	助成金額
特定非営利活動法人ダイバーシティ工房（市川市）	居場所がない子ども・若者の居場所事業～リスクの高い若年女性向けシェルター運営～	10,000,000円
特定非営利活動法人子どもの環境を守る会 J ワールド（松戸市）	地域と連携した貧困脱却のための自立支援～見えない壁を打ち壊すために～	9,014,200円
特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブういず（柏市）	キッチンカーで GO! ～どこでもこども食堂&暮らしのサポート～	8,597,760円
企業組合船橋事業団（船橋市）	新型コロナにより住居を失った人の支援事業～シェルターの運営と地域への定着～	9,990,000円
特定非営利活動法人生活困窮・ホームレス自立支援ガンバの会（市川市）	仕事や住まいを無くした人の地域定着支援～ひとりにさせない伴走型支援～	3,000,000円
NPO 法人ケアラーネットみちくさ（柏市）	コロナ禍を乗り越え、共生社会をめざして～住民と専門職とがつくる互助センター～	9,398,040円

【助成選考会開催報告（助成等選考会規定に基づき開催）】

- ・開催日時：2020年9月23日（水）13:30～17:30
- ・開催場所：千葉市生涯学習センター3階特別会議室
- ・選考委員（★印：議長）：

岩村真奈美 労働金庫連合会総合企画部

上野 聡 株式会社上野工業所代表取締役

川上浩嗣 千葉県社会福祉協議会 事務局長

小松孝之 株式会社ちばぎん総合研究所調査部 担当部長★

清水洋之 千葉大学大学院人文科学研究院教授

- ・選考方法：

全選考委員の採点表、所見をもとに上記選考基準に基づき、出席した選考委員の合議により採択の可否と助成額を決定した。

- ・選考基準：

- (1) ガバナンス・コンプライアンス 包括的支援プログラムに示す事業を適確かつ公正に実施できるガバナンス・コンプライアンス体制等を備えているか
- (2) 事業の妥当性 社会状況や課題の問題構造、当事者(社会的養護下にある若者)のニーズや特性の把握を十分かつ具体的に行った上で課題を設定し、適切な事業を提案できているか
- (3) 実行可能性 業務実施体制や計画、予算が適切か
- (4) 継続性 助成終了後の計画（支援期間、出口戦略や工程等）が具体的かつ現実的か
- (5) 先駆性（革新性） 社会の新しい価値の創造、仕組みづくりに寄与するか
- (6) 波及効果 事業から得られた学びが組織や地域、分野を超えて社会課題の解決につながる事が期待できるか
- (7) 連携と対話 多様な関係者との協働、事業の準備段階から終了後までの体系的な対話が想定されているか

\* 審査については、支援実施の緊急性に鑑み、①申請事業の妥当性、②実行可能性、③コンプライアンス・ガバナンス体制を重視。また、過去に申請にかかる活動の実績があり、適切に業務を遂行できる団体であること。

\* 選定にあたっては、効果的なアプローチを緊急かつ1年間実施し、一定の成果を収めることができ、その後も多様な機関と連携し継続していくことができる、そういった団体・事業が対象。

- ・選考結果の公表：当財団ホームページ上での公開、メディアリリース